

第43回議会報告会 ～テーマ別タウンミーティング～

[企画文教委員会]

開催日：令和5年8月5日（土）

場所：中央公民館 中会議室

担当議員：柴田勝、中島清志、石川智子、川嶋太一郎、兼子義信、佐藤修

【テーマ】「学校生活について～子どもたちの声を聞きたい～」

《主な意見・内容》

①教職員の働き方改革について、先生の仕事量は多いのか

- ・個々の子どもとの関わり
- ・スマートフォンやインターネット、SNSとの付き合い方
- トラブルについて、学校で教えるべきか、行政や地域で教えるべきか
- ・教職員の処遇改善が必要では？
- ・保護者や地域ボランティアの活用（プール授業の監視、ミシンの使い方など）

②学期制について

- ・なぜ知立市は、2学期制なのか？
- ・高校受験も控えた中学生など近隣他市と同じ条件ではないように思える
- ・子どもたちの学力を上げるためには、細かく成績やテストを実施することが重要では

③学校環境について

- ・教職員が忙しすぎて、様々なことに手が回らないことも多い
- ・知立市内の小中学校の普通教室や特別教室にエアコン設置されることはいい事だが、学校体育館や武道場などへの設置見通しは
- ・上級生と下級生のつながりが薄いのでは。通学班内で名前も知らないなどを聞く。
- ・子どもの通学時間が長く（西中町）、夏の暑さを考えると心配になる。

④不登校について

- ・不登校になった児童生徒の居場所が少ない。
- ・他市には、フリースクールもあるが知立市内にはない。
- ・先生と保護者にとの認識にズレがあるのではないかと。（先生は、不登校児童に対しても真摯に

向き合っている、責任を感じすぎているか）

- ・不登校に関しての情報がたくさんありすぎて、本当に必要な情報をスムーズに入手できない。
- ・そもそも、今の教育方針などが今の子どもたちに合っていないのではないかと。

⑤コロナウイルス感染症への対応について

- ・正確な情報を市や議会が市民（子どもたち）に伝えるべきでは。

⑥その他

- ・特別支援教育を受ける児童生徒も多くなっている
- ・学校給食についても“食の安心・安全”が大切ではないかと。